

愛媛県立病院中期経営戦略の概要（新居浜病院）等について

1 愛媛県立病院中期経営戦略策定の経緯

平成27年3月に総務省が『新公立病院改革ガイドライン』を策定し、平成27年度又は平成28年度に、新改革プランを策定することが求められた。

このため、愛媛県では「県立病院機能強化検討委員会」を平成27年4月に設置し、県立4病院の今後進むべき方向性や役割のほか、経営の健全性等の機能強化方策について検討を行い、地域医療構想を踏まえた役割の明確化などを含めた議論を行い、平成28年3月に「愛媛県立病院中期経営戦略」（期間：28～32年度）として策定した。

2 目指すべき病院像と主な取り組み（抜粋）

○県立新居浜病院

救命救急センター、地域周産期母子医療センターを併設し、東予地域の三次救急機能や東予東部の周産期医療、小児救急医療を担うとともに、脳神経疾患、心臓疾患等の急性期医療や災害医療等を県民に提供する新居浜・西条圏域の中核病院

【主な取り組み】

①政策医療の強化

- ・整形外科再開に伴う診療機能や緊急手術への対応機能の強化
- ・ドクターヘリを活用した救急医療体制の強化
- ・総合周産期母子医療センター（中央病院）との連携強化

②地域医療機関との連携強化

- ・地域医療連携室スタッフの確保・育成
- ・連携先病院等の訪問による営業力強化
- ・地域の医療機関との研修会等の充実

③医師及び看護師の確保・人材育成機能の強化

- ・研修体制の充実、研修環境の整備による臨床研修医の確保
- ・新たな専門医制度に向けた指導医資格の積極的な取得
- ・脳卒中患者・外傷患者等に対するリハビリテーション提供体制の強化
- ・職員の専門性の向上

④施設の老朽化対策

- ・建替えを含めた整備基本計画の早期策定及び設計、施工

⑤経営の効率化

- ・新規入院患者確保に向けた仕組みづくり
- ・DPC（包括医療費支払制度）導入に伴う診療の標準化、平均在院日数の短縮化等による診療単価のアップ
- ・整形外科再開に伴う手術件数の増加による診療単価のアップ
- ・適切な診療報酬請求事務の推進
- ・後発医薬品の使用拡大

【平成29年度病床機能報告について】

	現在 (H29年度病床機能報告)		将来 (2025年度) (注)
高度急性期	30床	⇒	32床
急性期	260床		203床
回復期	0床		0床
慢性期	0床		0床
(合計)	290床		235床

(注) 愛媛県立新居浜病院整備基本計画に基づく数値であり、今後修正の可能性あり